

わがまちの お宝探訪

下諏訪町指定文化財

■ 魁塚（相楽塚） （下諏訪町）

幕末期に「偽官軍」の汚名を着せられた赤報隊の幹部が処刑された地に建つ。赤報隊は戊辰戦争が始まった1868（慶応4）年1月、新政府軍の一部隊として滋賀県で結成。新政府の許可を得て「年貢半減」を掲げて東に進軍し、旧幕府に反発する民衆の支持を得た。

しかし、新政府が不可能と思われる年貢半減を撤回。その上で赤報隊を「偽官軍」とし、同年3月3日、隊長の相楽総三をはじめとした幹部8人をこの場所で斬首した。

塚は70（明治3）年に赤報隊のかつての同志らによって建立され、幹部8人、道中で命を落とした隊員4人、相楽と親交があった諏訪高島藩士・石城東山を祭った。

今も隊士の子孫や地元関係者が隊士らを弔う「相楽祭」を毎年開いている。



至 下社春宮



至 下諏訪役場

1974年6月24日指定
管理者／下諏訪町
所在地／下諏訪町 5360
連絡先／電話 0266・27・1111